

ごあいさつ



鹿児島市長
森 博幸

鹿児島市は、世界有数の活火山・桜島や、波静かな錦江湾などの世界に誇れる素晴らしい自然景観や、磯地区の旧集成館をはじめとする世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」など、個性あふれる歴史・文化を有し、多様な都市機能が集積する南九州の中核都市として発展してきました。

これらの豊かな自然や鹿児島の風土・文化に育まれてきた美しい景観は、都市の魅力向上や交流人口の拡大に資するものであり、地域社会共有の財産として、次の世代にもしっかりと引き継いでいけるよう、市民、事業者、行政が一体となって、守り、創り、育てていく必要があります。

この「鹿児島市景観まちづくり賞」は、良好な景観形成に寄与している民間の建築物や、市民、事業者、地域団体等の活動等を表彰し、これらを広く紹介することで、都市景観に対する市民の関心と理解を深め、魅力あるまちづくりを進めるために実施するものです。

第4回となる今回は、建築部門に30件、景観部門に2件のご応募をいただき、3日間にわたる審査を経て、建築部門3件、景観部門2件の表彰を決定いたしました。

受賞された皆様方には、心からお祝い申し上げます。皆様方の景観まちづくりにかける情熱とご努力に心から敬意を表しますとともに、それらの取組の一つひとつが、多くの方々から愛され、地域の新しい魅力として定着していくことを期待しております。

さて、今年は、鹿児島市のまちづくりの基本的指針となる「第五次鹿児島市総合計画」について、その後期基本計画がスタートいたしますが、都市像「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」の実現を目指し、真に豊かさを実感できるまちの創造に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

景観行政については、「魅力ある都市景観の形成」をテーマに、市民、事業者、行政の協働による良好な景観づくりを推進してまいります。特に本市特有の景観や歴史的価値のある建造物などを含む数少ない景観を有する地区については、本市ならではの貴重な景観の掘り起こしと保全・活用を図るため、「景観形成重点地区」に指定することとしており、現在、「八重の棚田地区」、「磯地区」に続き、「南洲門前通り地区」、「喜入旧麓地区」等の指定に向け取り組んでおります。

今後とも、将来にわたり市民の皆様が愛着と誇りを持てるふるさとかごしまの景観づくりに積極的に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、審査会の委員の皆様をはじめ、本賞の運営にご支援、ご協力を賜りました方々、そして今回ご応募いただきました皆様方に心から感謝を申し上げ、あいさついたします。

審査にあたって



第4回鹿児島市景観まちづくり賞
審査会 委員長

門内 輝行

大阪芸術大学芸術学部建築学科 教授
京都大学名誉教授

平成22年に創設された「鹿児島市景観まちづくり賞」は、本年度で第4回となりますが、平成2年に始まった前身の「鹿児島市建築文化賞」（10回開催）から通算しますと、約28年の歴史を積み重ねてきたことになります。第1回～第3回に引き続き、今回もこのような由緒ある賞の審査委員長を務めさせていただくことになり、大変光栄なものと存じております。

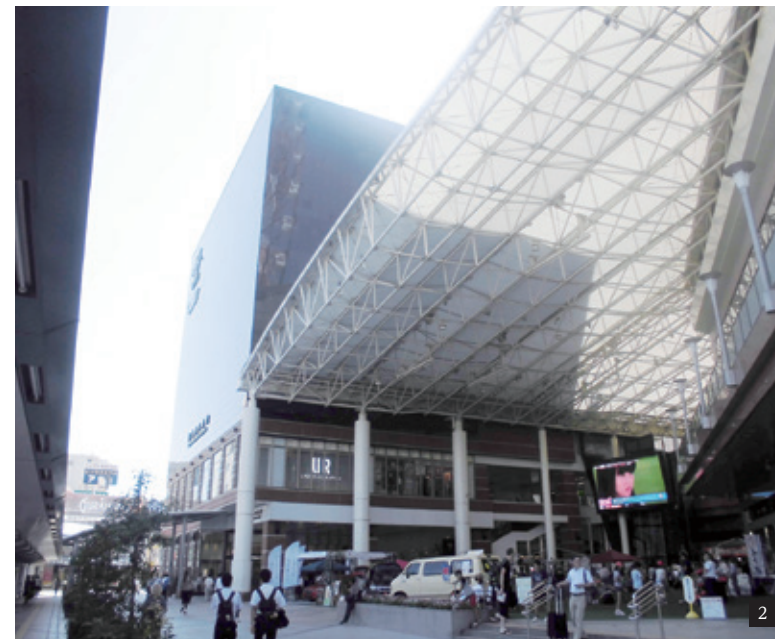
「建築文化賞」から「景観まちづくり賞」への展開の直接の契機は、平成16年に「景観法」が成立したことにありますが、その背景には、大量生産・大量消費を基調とした20世紀の工業社会が終わり、21世紀の知識社会を迎えて、多くの人々が快適な環境や美しい景観の大切さに気づき始めたという価値観の大きな地殻変動があることを指摘しておきたいと思います。今日、建築設計においても、あるいは景観まちづくり活動においても、物質的な繁栄を求める“経済の原理”を超えて、豊かな生命と暮らしを育む“文化の原理”に基づいて総合的な景観・環境を形成することが不可欠になっているのです。

第4回景観まちづくり賞の審査は、10月28日～30日の3日間にわたって実施しました。天候にも恵まれ、現地審査を含めて順調に審査が進み、表彰対象となる作品・活動を無事選定することができました。審査対象は建築部門30件、景観部門2件で、景観部門の件数が少なかったのは少し残念でしたが、集まった作品・活動については見応えのあるものも多く、充実した内容であったと感じています。

審査に当たっては、書面審査をもとに現地審査対象を選ぶ「一次審査」、現地審査を踏まえて審査を行う「二次審査」からなる二段階審査を実施しました。今回は建築部門8件、景観部門2件について現地審査を行い、建築部門3件、景観部門2件を授賞対象として決定しました。

ここで留意すべきは、景観の本質が景観を構成する個々の要素にあるのではなく、要素間の関係にあるということです。それゆえ、一見すると特異な形態や色彩であっても、それらが他の要素群とどのように関係づけられるのかによって、景観としての評価は大きく変わってくるのです。21世紀の知識社会における建築には、単体としての建築を超えて、建築相互の関係、都市との関係、環境・社会・文化との関係などに配慮し、魅力的な景観の形成に貢献することが求められますが、そこで問われるのはその建築によって生成される景観の美的秩序をどのように評価するかという点です。今回の審査でも、景観としての評価が分かれる建築作品がありましたが、敢えてそれを授賞対象として選出しました。一般に議論が分岐するところに新たな創造の手掛かりが潜んでいることも少なくないことから、景観をめぐる活発な議論が繰り広げられることを期待しています。

審査委員会としては、「鹿児島市景観まちづくり賞」の審査を通して、美しい街並みと豊かな都市環境に寄与し、街に潤いと魅力を与えている建築物、良好な街並み等（田園、海岸、緑地等を含む）、さらに市民（コミュニティ）等による景観まちづくり活動を顕彰し、優れた景観を形成する建築設計やまちづくり活動のあり方を提示することにより、鹿児島市の建築・都市、景観・環境、歴史・文化をいっそう豊かなものにしていきたいと考えています。



アミュプラザ鹿児島 プレミアム館



東面夕景

JR鹿児島中央駅東口駅前広場側の大階段を撤去し、商業施設「アミュプラザ鹿児島」の増床工事として建設された別館「プレミアム館」であり、駅に直結する地上8階建ての建物である。

建物形状については、周辺建物との調和に配慮するとともに、店舗面積を最大限有効に活用するために矩形としている。外壁素材については、3階以上は、薩摩焼、黒薩摩のつやのある表面を想起させる素材として花崗岩を採用し、降灰の影響を考え、凹凸を避けメンテナンスのしやすい滑らかな仕上げとしているが、1・2階は赤レンガを用いている。

内装は、大人の落ち着いた雰囲気を出す白を基調として、エスカレーター側面の壁は光壁とし、薩摩切子をイメージしたデザインを施している。有名ブランドの店舗が集まり、7階東側の店内には九州新幹線のホームを見下ろせる憩いの場を設けている。

外観にはインパルトの強い色彩が使われている。3階以上の「黒」と1・2階のアースカラーの「赤」がそれぞれである。「黒」を選んだ理由は、鹿児島には「黒豚、黒酢、黒焼酎」などの農産物や「黒千代香、黒切子」の生産品のように、「黒」に代表される文化が根付いていること、周辺には「黒」をアクセントとした建物が多いこと、旧東口駅舎入口も「黒」であったことなどであり、「赤」を選んだ理由は、桜島の桜や噴火・切子の色であること、本館に利用されていることなどである。

とはいえ、大きな壁面が「黒」、目につきやすい部分が「赤」で構成されているファサードは特異なもので、市民の間で議論が巻き起こったことは想像に難くない。このことは審査委員会でも同様で、特に「黒」について議論が分かれたことは記しておきたい。けれども、現地に立ってみると、光沢のある黒い壁面は見る角度によって空や周辺の建物を映し出し、「赤」は本館の色彩と響き合い、想像以上に周辺の街並みに溶け込んでいることに、驚きを覚えたことも事実である。

建築を単体として眺めるのではなく、街並みの構成要素として眺めるとき、鹿児島中央駅周辺における一体的なまちづくりに貢献する可能性が見えてくるのではないかと考える。この作品を通して、優れた都市景観とは何かについての活発な対話が生じることを期待している。

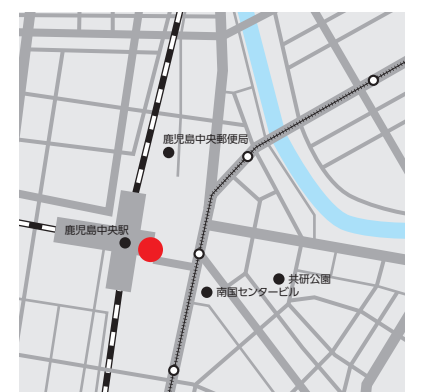
受賞の声 アミュプラザ鹿児島 プレミアム館

景観まちづくり賞の受賞ありがとうございます。ターミナルという顔も併せ持つこの建物が、中央駅周辺の賑わいと回遊性の向上に貢献し、鉄道を通じて全国に情報発信を行い、鹿児島と日本各地をより身近に繋ぐ役割を果たせるよう願っています。

株式会社 安井建築設計事務所

所在地	中央町1番地1	設計者	株式会社 安井建築設計事務所
建築主	九州旅客鉄道 株式会社・鹿児島ターミナルビル 株式会社	施工者	九鉄工業 株式会社
概要	用途:物販店舗／構造等:鉄骨造8階／延面積:7,951.80㎡		

- 1 東側正面
- 2 アミュ広場とのつながり
- 3 1階エントランス
- 4 7階より西側眺望





桜ヶ丘01・02



林と原(01)

桜ヶ丘01・02は、鹿児島市郊外の区画整理によって作られたニュータウンである「桜ヶ丘ビュータウン」にある2軒の戸建て住宅である。これらは「暮らしをたのしむ、快適に暮らす、未来をえがく」ことを目指す住宅システムのモデルハウスである。このプロトタイプには、家族がつながる、自然とつながる、さらに住宅がつながることを可能にする様々な工夫が凝らされている。

住む人のライフスタイルや将来の家族構成に合わせて、使い方や間取り、設備、内装を自由にアレンジできるように、中心の柱と周囲の外壁で基本となる構造体を構成し、内部には柱が少ないスケルトンインフィル工法を採用したシンプルな木の箱としてデザインされている。木材の質の高さやディテールの完成度も相俟って、ロングライフの住宅が実現されている。

夏は蒸し暑く、冬は寒さが厳しい鹿児島で快適に暮らせるように、高気密・高断熱・高遮熱の「高性能住宅」に、自然の光や風を取り入れた「パッシブデザイン」を融合している。冬は太陽熱を利用した床暖房、夏は風の流れて涼しい室内環境をつくるOMソーラーシステムを採用している。夏の陽射しはできるだけ遮蔽し、風の通り道を確保し、植栽によってデッキに涼やかな木陰をつくるとともに、冬は陽光を十分にに取り込み、陽だまりを室内へと導き入れている。

鹿児島での生育に適した高木落葉樹と在来の常緑中低木を配し、足元には山野草を植えた四季折々の彩りのある庭、そこにテラスやデッキを設け、自然とつながる暮らしが提案されている。これは鹿児島の原風景の再生を目指す試みでもあり、住み手による継続的な庭育ての努力に期待したい。

同じ住宅システムのバリエーションである2軒の住宅が、隣接する敷地に微妙な角度をつけて配置されており、庭が連坦した広がりのある緑地や隣家が見通せる前庭の情景が生み出され、魅力的な街並みの景観が形成されていることも特筆に値する点である。



1



3



2



4

受賞の声 桜ヶ丘01・02

鹿児島の気候風土に配慮し、永く愛せる住まいづくりを日々探求しております。この度はその取り組みの一環で賞を頂けたと自負しておりますし、大変有り難く思います。今後も住まいづくりを通して家族や地域の絆づくりに尽力して参ります。

ヤマサハウス株式会社

所在地	桜ヶ丘八丁目	設計者	01:野沢正光建築工房/02:ヤマサハウス株式会社
建築主	01・02:ヤマサハウス株式会社	施工者	01・02:ヤマサハウス株式会社
概要	用途:01・02:一戸建ての住宅/構造等:01・02:木造2階/延面積:01:129.08㎡ 02:107.63㎡		

- 1 外観(01)
- 2 まちとのつながり
- 3 室内外のつながり(01)
- 4 隣地とのつながり





医療法人共助会 三州脇田丘病院



遠景

鹿児島市の中心より5km南下した住宅地の小高い丘の上にある三州脇田丘病院は、この地に開院して以来、周辺住民や鹿児島大学病院と連携して多くの患者の心のケアを行ってきたが、それを踏まえて現地での建て替えを行った精神科病院である。

丘という平面的に限られた敷地に加え、用途地域が第一種低層住居専用地域に変更されたことに伴う高さ制限など、多くの制約があったが、周辺住民の今後のケアを考え、建て替えが最良と判断し、平面的な制約、高さの制約、降灰対策、ローリング工事（敷地にゆとりがない場合、部分的に解体→建設→移転を繰り返して工事を進める技術）などについて、技術者、病院スタッフ、周辺住民などの力を結集して、魅力的な病院を実現したものである。完成した病院は2つの異なる角度のボリュームで構成されているが、その角度は旧病院の角度と同一となっており、建物の形状においても、旧病院の記憶を引き継いでいる。また、旧病院の屋根の「橙色」を内部サインに使用している。

近年、ストレス社会が蔓延し、精神科を受診する人々が増え、医療の進歩で入院期間も短期化してきていることから、気楽に心のケアができる身近な病院が求められている。そこで、病院が住民の心の支えとなるような安心感を与え、周辺の住宅や緑ともなじむように、様々な工夫を凝らしている。白薩摩の「白」をイメージさせる外壁、長大な壁面の分節、楽しい雰囲気を出すリズムのある縦スリット窓、開放的なカーテンウォールなどがそれである。技術的には、外壁を構造体として活用できる新しい構造形式を採用し、開口部の位置を自由に設定できる平面計画を可能としている。

周辺住民とのつながりを重視し、現地での建て替えを推進するために、意匠・構造・設備・施工などの技術を総合して多くの制約を乗り越え、周辺の環境やコミュニティとの関係に配慮し、親しみやすい景観を実現していることは高く評価できる。

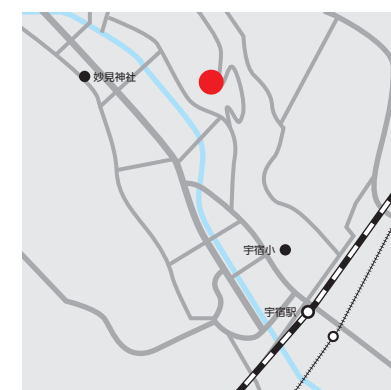
受賞の声 医療法人共助会 三州脇田丘病院

誰もが来院しやすい精神科の病院を目指して、地域の方々に親しまれるような建物を設計しました。ストレス社会に疲れた人や、心に不安を抱える人がいつでも心を休められる場所として、鹿児島市の人の心や景観が今以上に豊かになることを願っています。

大成建設株式会社 一級建築士事務所

所在地	宇宿七丁目26番1号	設計者	大成建設株式会社 一級建築士事務所
建築主	医療法人 共助会	施工者	大成建設株式会社 九州支店
概要	用途：病院／構造等：鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階／延面積：6,969.74㎡		

- 1 全景
- 2 西面外観夜景
- 3 病棟廊下





上町維新まちづくりプロジェクト



六月灯協力

JR鹿児島駅を中心に広がる鹿児島発祥の地であり、城下町としての佇まいを残す上町(かんまち)地区の歴史的資源を生かし、いつまでもこの上町で暮らし続けたい、と思えるまちづくり活動とそれを担う組織である。コミュニティの機能が低下し、地域における連帯意識が希薄化しつつあるという課題に対して、上町の魅力を住民自らが発信することを通して、人の絆を取り戻すことを目指している。

この組織は平成20年に既存の町内会の事業部としてスタートし、複数の町内会や通り会などに参加を呼び掛けて結成された。既存のコミュニティの域を越え、様々な団体(NPOや商店街)が連携することで、失われた行事や活動を実施しているが、直接の契機は平成20年度の鹿児島市「市民とつくる協働のまち事業」に採択され、公共性のある地域サービスを目指して活動を開始したことである。

上町地区には、NHK大河ドラマ「篤姫」で注目された天璋院篤姫の生家である「今和泉島津家」の本邸跡や中世の守護であった島津家の内城跡がある南洲門前通りなど、当時の雰囲気を感じることができる石塀や寺社等が残っている。しかし、幕末期から昭和にかけて戦火の被害を多く受け、上町の魅力を知る機会が少なくなってしまうことから、その魅力を再確認すべく「いにしえプロジェクト」「きずなプロジェクト」などの5つのプロジェクトを立案し、できることから順次実施している。その中で、「上町探訪」「上町検定」「井戸端サロン」「かんまち本(その1)」の刊行などを行ってきた。

プロジェクトの最大の特徴は、フットワークの軽さである。まちづくりに興味や関心がある人は誰でも参加できる組織であり、メンバーは得意分野で力を出し合い、仕事や家庭の事情など都合が悪いときは相互にフォローし合いながら活動に参加している。メンバーには若い人も多く、既存の自治会の枠を超えて、まちづくり活動を活発に展開している点は注目に値する。

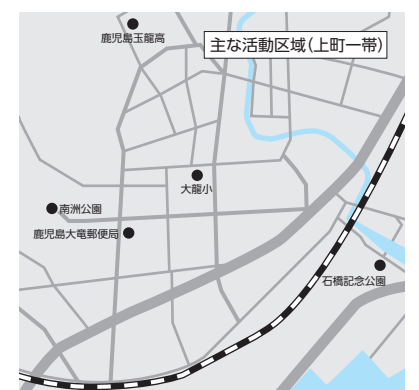
受賞の声 上町維新まちづくりプロジェクト

地元町内会や商店街との協働により、できることから実現していこうと取り組んだプロジェクトが、皆様の支えによって受賞できたことに心から感謝を申し上げます。これからもかごしま発祥の地、魅力溢れる上町の歴史的な雰囲気を大切にして、風格とまとまりのある景観づくりを進めてまいります。

上町維新まちづくりプロジェクト 代表 春山 亮

所在地	大竜町ほか(上町地区)	取組内容	「上町地区の歴史・文化的遺産の保存・活用等」 ・上町の魅力を再確認するプロジェクト立案、実施 ・地区内歴史的遺産等の清掃活動 等
活動主体	上町維新まちづくりプロジェクト		

- 1 福昌寺清掃
- 2 干潟観察
- 3 上町検定
- 4 郷土学習(清水中)





坂之上交差点いこいの花壇



坂之上交差点

国道225号の坂之上交差点が新しく設置されて、「坂之上の表玄関」として明るくなったが、その場所で、笠松・星和台、坂之上駅前、坂之上東中、坂之上東前という4つの町内会の有志一同が平成26年10月頃から地域のボランティア活動として進めている花壇づくりである。見る人の心が安らぐように、住民が協力して心を込めて手入れをし、美しい花壇の維持に努めている。

〈笠松・星和台町内会の花壇〉は、86歳の長老が種から育てたマリーゴールドが咲く花壇、〈坂之上駅前の花壇〉は、バナナの木、プーゲンベリア、さるすべりなど、自宅の庭木がそっくり移植された花壇、〈坂之上東中町内会の花壇〉は各家庭の木々を寄附していただいた花壇である。〈坂之上東前町内会の花壇〉ではイヌマキの下に、ポーチュラカ、メランボジウムなどが賑やかに色を添えている。

国交省指宿国道事務所と連携し、約140㎡のシラスを黒土に代え、4つに区分けし、さらに夏の日照りの時は、ボトルで水かけを行い、樹木や草花を枯らさないよう努力している。鹿児島市からは花苗の提供協力を得ているというが、水道の設置が切望されるところである。

一人の投げかけたしずくが大きな波動となって住民の心を動かし、地域の活動へと発展したものである。町内会有志一同による地域のボランティアの活動の意識を高め、四季を通じて花の絶えない維持管理を行っている。この花壇のおかげで、校区の異なる地域（錦江台校区、和田校区）の人々との交流が始まっており、その効果は少しずつ広がっている。

この花壇づくりは、平成27年度の鹿児島市の「まちかどフラワーコンテスト」において最高賞の特選に選ばれているが、花と緑にあふれるまちづくりを先導する活動として、さらなる発展を期待したい。複数の町内会の連携のあり方、行政や専門家による支援のあり方なども含め、地域住民による花壇づくりを次の世代へと繋いでいくことが今後の課題といえる。

受賞の声 坂之上交差点いこいの花壇

国道225号線の坂之上交差点が新しく設置され「坂之上の表玄関」として明るくなりました。4町内会有志一同が、見る人の心が安らぐよう花壇作りを始め、心を込めて手入れしています。これからも住民が協力し、四季を通じて花の絶えない美しい花壇を維持できるよう一丸となって取り組んでいきます。

坂之上東中町内会 会長 西中間 俊春

所在地 坂之上一丁目

活動主体 坂之上東前、坂之上東中、坂之上駅前、笠松・星和台 4町内会有志

取組内容 「国道225号坂之上交差点花壇の維持・管理」
・複数の町内会による緑化整備活動
・坂之上交差点付近の景観向上

1 花壇(8月)
2 除草作業

3 定植作業I
4 定植作業II



その他の 二次審査対象

二次審査(現地審査)を実施した作品・活動は、建築部門8件、景観部門2件です。審査会では、二次審査の対象を優れたものと評価しており、選外となった場合もパンフレットで紹介し、講評を掲載させて頂くことにしています。今回は、建築部門8件中、3件が受賞していますので、残りの5件について講評を書かせて頂きます。景観部門は、二次審査を行った2件がすべて受賞していますので、本欄で講評すべき案件はありません。

建築部門

明石屋薬師店

用 途	物販店舗
所 在 地	薬師一丁目
建 築 主	合名会社明石屋菓子店
設 計 者	株式会社奥ノ蘭建築設計事務所
施 工 者	株式会社前田組

「明石屋薬師店」は、鹿児島名物の軽羹を販売する店舗である。伝統を受け継ぎながらも現代的な佇まいを感じさせる建築を目指して、「和」をコンセプトとして数寄屋造りの建築様式を取り入れた平屋の切妻屋根のシンプルな構成の空間がデザインされている。内部には中庭、茶室、格子、石畳などが設えられ、深い庇、天然木の軒裏、建物廻りの和風庭園などが重なり合う情景は、懐かしさと新しさが融合した心地よい世界が実現されている。周辺の街並みとも調和した建築で、全体として極めて高い評価を得たが、ディテールについては今少し工夫があってもよかったと思われる。

指宿枕崎線 谷山駅

用 途	事務所(駅舎)
所 在 地	谷山中央一丁目
建 築 主	九州旅客鉄道株式会社
設 計 者	JR九州コンサルタンツ株式会社
施 工 者	谷山高架谷山駅部B&新設他工事共同企業体 (九鉄工業株式会社・南生建設株式会社JV)

「指宿枕崎線 谷山駅」は、鹿児島市の副都心に相応しいボリュームを感じさせる駅舎である。ホーム上屋は全覆いとし、ガラス張りの防風スクリーンとトップライトを設け、床にはウッドデッキを用いている。また、幕板やサッシの色はダークブラウンとし、重厚感のある外観としている。コンコースの壁にはレンガタイルと花棚石を、天井にはウォールナットを、高架下のキャノピーと自由通路の天井には、鹿児島県産の杉を使用するなど、全体に質の高いデザインが施されているが、駅周辺が未整備であり、景観としての評価をするのは時期尚早であると判断される。

曲がり角の家

用 途	一戸建ての住宅
所 在 地	薬師二丁目
建 築 主	個人
設 計 者	株式会社みのだ設計
施 工 者	株式会社渡辺組

「曲がり角の家」は、曲がり角の入隅に位置する変則的な扇形の敷地に建つ鉄骨造2階建ての住宅である。周囲からの視線を遮り、プライバシーを確保するために、2階の屋根の対角線を棟として、折り紙のように屋根と外壁を連続させたデザインを用い、2階のボリュームをおさえて、周辺環境と距離を取り、採光・通風は中庭や光庭から得ることで、プライバシーを高めている。その結果、内部にも随所に曲がり角のある、家族と犬たちがのびやかに暮らせる住まいが実現している。外部の街並みに対して少し閉鎖的になっている点が惜しまれるが、都市からの景観にも配慮した優れた作品である。

中庭を囲む平屋住宅

用 途	一戸建ての住宅
所 在 地	東谷山四丁目
建 築 主	個人
設 計 者	株式会社小森昌章建築設計事務所
施 工 者	株式会社本田建設

「中庭を囲む平屋住宅」は、広い敷地に建つ鉄筋コンクリート造の平屋住宅である。家族がどこにいてもそれぞれの気配を感じ合えるように、居間食堂と子供室が中庭を介して向き合うコの字型の平面を採用している。道路に面した部分には塀を作らず、アプローチに長いスロープを設け、オープンでありながら奥行き感のある空間が構成されている。外観は大きさの異なる4つの箱を重ね合わせ、色彩や素材にも変化をつけることで、街並みに楽しさを演出している。同じ設計者の受賞作品を大きく超えるものではなく、受賞対象とはならなかったが、優れた作品であることは疑いを入れない。

本願寺鹿児島別院

用 途	寺院
所 在 地	東千石町
建 築 主	本願寺鹿児島別院
設 計 者	株式会社東条設計
施 工 者	清水建設株式会社九州支店

「本願寺鹿児島別院 改修工事」は、親鸞聖人750回大遠忌法要の一環として、耐震補強による建物強度の確保、建物の長寿命化、内装改修による機能性向上の3点を目的とした改修工事である。今回の工事では、軽量で強度もあり、降灰の影響も受けない金属「チタン」を屋根瓦に採用し、微妙に色を変えた3色の瓦をランダムに配置することで、和風瓦の持つ風合いを表現している。これだけの大規模な屋根でのチタンの使用は、全国的にも2例目で高い評価を受けている。街のシンボルとなっている本堂の意匠を損なわないように耐震補強を行ったことに敬意を表したい。

講評執筆：第4回鹿児島市景観まちづくり賞審査会 委員長 門内 輝行

第4回 鹿児島市 景観まちづくり賞

2016 THE BEST OF KAGOSHIMA LANDSCAPE & ARCHITECTURE AWARD

1 目的

景観まちづくり賞は、良好な景観形成に寄与している建築物や、市民等の活動により保全されている景観の良好な街並み、田園、海岸、緑地、景観形成に貢献する市民等の活動を表彰し、これらを広く紹介することにより、景観に対する市民や事業者の関心を高め、魅力的な景観のあるまちづくりを進めることを目的として実施します。

2 募集期間

平成28年6月20日(月)～8月5日(金)

3 募集対象

① 建築部門

市内にあり、美しい街並みと豊かな都市環境に寄与し、街に潤いと魅力を与えている民間建築物で、平成18年4月1日から平成28年8月5日までに建築基準法による検査済証の交付を受けたもの

② 景観部門

- 市民・事業者によってつくられ保全されている街並み、田園、海岸、緑地などの市内の良好な景観
- 市内で継続的に取り組まれている景観まちづくり活動

4 応募件数

建築部門：30件 景観部門：2件

5 審査会

① 期間：平成28年10月28日(金)～30日(日)

② 審査会委員

委員長	門内 輝行 大阪芸術大学芸術学部建築学科教授 京都大学名誉教授
副委員長	井上 佳朗 鹿児島大学産学官連携推進センター特任教授 鹿児島大学名誉教授
委 員	木方 十根 鹿児島大学大学院理工学研究科教授
	橋本 文雄 鹿児島大学農学部教授
	古川 恵子 鹿児島女子短期大学名誉教授
	江良 きよ子 era色彩計画代表
	東川 美和 NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かこしま探検の会事務局長

6 表彰

建築部門	建築主	賞状及び銘板
	設計者	賞状
	施工者	賞状
景観部門	活動団体等	賞状及び賞金10万円



第1回 鹿児島市 景観まちづくり賞 (平成22年) 受賞作品

建築部門



薬師堂の家

用 途	専用住宅(車庫付)	設計者	株式会社小森昌幸建築設計事務所
所在地	東谷山三丁目	施工者	株式会社新生組
建築主	個人	構造等	鉄筋コンクリート造2階



東宝アルバビル リッチモンドホテル鹿児島天文館

用 途	ホテル	設計者	竹中工務店九州一級建築士事務所
所在地	千日町14番1号	施工者	竹中工務店九州支店
建築主	萬活土地起業株式会社	構造等	鉄筋コンクリート造11階

STEP

用 途	共同住宅
所在地	松原町11番7号
建築主	田代隆宏
設計者	サウルス建築設計事務所
施工者	株式会社前屋敷組
構造等	鉄筋コンクリート造7階



景観部門



大原地区フラワーロード

所在地	本名町7934番地イ先	団体名	大原地区公民館連絡協議会
内 容	県道沿いの花壇の整備、維持管理 ・幹線道路の緑化 ・路側帯の空き地150mの花壇等の苗植え、草取り、水遣り、清掃		



八重の棚田

所在地	郡山町八重	団体名	八重地区棚田保全委員会
内 容	棚田の保全と都市農村交流による地域活性化 ・八重山の山腹に広がる約240枚からなる石積み棚田の維持保全 ・棚田を生かした農作業体験を通じ、都市部住民と地域住民の交流		



マルヤガーデンズ

所在地	呉服町6番5号	団体名	株式会社丸屋本社
内 容	商業施設の再生、壁面緑化、屋上緑化 ・商業施設の改修工事におけるメインファサードの壁面緑化、屋上緑化 ・コミュニティスペース「ガーデン」の設置、運営		

第2回 鹿児島市 景観まちづくり賞 (平成24年) 受賞作品

建築部門



小規模特別養護老人ホーム寿康園・ 寿康園グループホーム飯山

用 途	児童福祉施設等	設計者	株式会社みのだ設計
所在地	本名町2196番地1	施工者	第一建設株式会社
建築主	社会福祉法人寿康会	構造等	木造2階



城山アパートメント

用 途	事務所付長屋	設計者	サウルス建築設計事務所
所在地	城山一丁目57番12号	施工者	株式会社深野木組
建築主	有限会社田代商店	構造等	鉄筋コンクリート造3階



宮崎銀行鹿児島営業部

用 途	事務所	設計者	株式会社日建設計
所在地	山之口町12番9号	施工者	坂下・植村特定建設工事共同企業体
建築主	株式会社宮崎銀行	構造等	鉄筋コンクリート造5階

景観部門



城山観光ホテル ガーデンテラス

所在地	新照院町	団体名	城山観光株式会社
内 容	「セミパブリックとしての庭園の開放」 ・ガーデンテラスの一般開放等による「市街地と桜島」眺望景観の 視点場提供、鹿児島の魅力発信 ・日本庭園「水簾」の整備 ・イルミネーションによる演出		



桜島まるごと博物館

所在地	桜島全域	団体名	NPO法人桜島ミュージアム
内 容	「桜島エコミュージアムの実践」 ・桜島の魅力を体感して楽しむイベントの開催(散策ツアー、バスツアー、各種体験など) ・桜島の豊かな魅力の掘り起こしと情報発信		

特 別 賞

鹿児島中央駅前開発 による都市景観の創出

所在地	中央町
内 容	九州新幹線開業に向けた「南国センタービル」「鹿児島中央ターミナルビル」 建設等の鹿児島中央駅前開発による新たな都市空間整備
表 彰	建築部門に応募のあった次の建築物の建築主(5者)を一連のプロジェクトの 事業主体として表彰

南国センタービル

建築主	南国ビル株式会社
設計者	株式会社三菱地所設計九州支店
施工者	株式会社大林組九州支店

鹿児島中央ターミナルビル

建築主	南国中央ビル株式会社、南国殖産株式会社、株式会社鹿児島銀行、株式会社松元
設計者	三菱地所設計東条設計共同企業体
施工者	株式会社竹中工務店九州支店



第3回 鹿児島市 景観まちづくり賞 (平成26年) 受賞作品

建築部門



社会福祉法人太陽会「しょうぶ学園」
における一連の建築

用 途	創作物業棟など
所在地	吉野町5066番地
建築主	社会福祉法人太陽会
設計者	株式会社小森昌章建築設計事務所
施工者	株式会社Misumiホームライフ事業部建設課/ 株式会社鶴留建設/株式会社ホームینگ
構造等	木造1階(nui project棟) 他



鹿児島の家

用 途	専用住宅
所在地	平之町
建築主	個人
設計者	石井良平建築研究所
施工者	株式会社新生組
構造等	鉄筋コンクリート造2階



学校法人ラ・サール学園学生寮

用 途	寄宿舍
所在地	小松原二丁目10番1号
建築主	学校法人ラ・サール学園
設計者	鹿島建設株式会社九州支店一級建築士事務所
施工者	鹿島建設株式会社九州支店
構造等	鉄筋コンクリート造4階

景観部門



西紫原小学校フラワーロード

所在地	紫原四丁目
団体名	鹿児島市立西紫原小学校
内 容	「地域の環境緑化への貢献を目指した 環境緑化教育」 ・教児一体となった環境緑化整備活動 ・通学路の公園、緑地帯等の清掃活動 ・地域住民等への花苗、種子の配布活動



石橋記念公園及び
周辺上町地域の景観形成

所在地	浜町
団体名	石橋記念公園子どもガイドの会
内 容	「石橋記念公園及び周辺地域の景観形成活動」 ・観光客等への園内ガイド ・公園内や周辺地域の緑化、美化清掃活動 ・上町や鹿児島市の観光や景観を考える 「鹿児島ジュニアサミットの開催」



ひらかわ美術館

所在地	常盤一丁目
代表者名	平川あさみ
内 容	「美しい常盤の森を借景とした庭造り」 ・古民家、庭園の再生と景観維持活動 ・見学者への庭園の開放

特別賞



照国表参道アーケード

所在地	東千石町
建設主	照国表参道商店街振興組合
設計者	株式会社東条設計
施工者	株式会社日米アートム
内 容	・建設過程の熱意を持った取り組みと合意形成 ・魅力的な都市景観の形成と街のイメージアップ への寄与

景観まちづくりとは

景観とは・・・

■景観は、それぞれの地域ごとの歴史、地勢や生態系などの風土、文化や伝統、私達一人ひとりの暮らしや経済活動等と、技術の進歩や法律制度等が背景となってつくられるものです。

■良好な景観は、地域の個性や特色をわかりやすく特徴づけるものであり、人々の地域に対する愛着やふるさと意識を育みます。

■身近にある景観のよさは、潤いある魅力的で豊かな生活環境の創出に貢献します。

■美しく個性的な景観は、観光をはじめ国内や世界各地との交流を活発にする役割を担います。

景観まちづくりとは・・・

■自分たちのまちの景観を楽しみ、貴重な財産として次世代に残せるように、わがまちの景観を維持・継承・改善するための様々な取り組みが、景観まちづくりです。

■景観まちづくりは、現在の良好な景観を大切に保全することだけでなく、新たに現代的で美しく魅力的な景観をつくりだすことも含みます。

■清掃や緑化など、日々の暮らしに根ざした、まちの景観を整えるための地道な活動も、良好な景観まちづくりに貢献しています。

